

はしかみ 議会だより

No.62

8月号 (August)

暮らし人
地域を豊かに



神奈川県水産技術センター（神奈川県三浦市）



千葉県多古町役場



都市交流施設・道の駅保田小学校（千葉県鋸南町）



神崎ふれあいプラザ（千葉県神崎町）



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

～議員県外視察研修～

7月6日から4日間の日程で全議員参加の県外視察研修を行い、先進地の取り組みなどを研修してきました。 13～17ページ

【6月定例会】

定額減税不足額給付金8,200万円計上

..... 2～3ページ

【ここが聞きたい】

7 議員が一般質問 4～11ページ

【質疑あれこれ】

6年度補正予算・7年度一般会計・

臨時会 ほか 12ページ

第 3 回 6 月 定 例 会

- ☆定額減税不足額給付 8,200万円
- ☆給食センター業務委託料 368万円
- ☆消防第 5 分団屯所移転新築工事 7,583万円で締結 など

令和 7 年第 3 回定例会を 6 月 10 日開会し、6 月 13 日閉会しました。
 今回の議会では、一般会計補正予算案など議案 13 件、報告 2 件をいずれも原案のとおり可決、承認しました。また、議会案 1 件を可決、議員発議の意見書は否決されました。
 一般質問は、7 人の議員が行いました。

議案書はこちらから
読み込みます。



議会議案QR

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果	関連ページ
報告第 1 号	令和 6 年度階上町一般会計繰越明許費繰越計算書報告について ※令和 6 年度に定めた「臨時給付支援サービス事業」、「低所得世帯支援臨時給付金事業」など 7 事業について、繰越計算書を調製し、報告するもの	報告のみ	3 ページ
報告第 2 号	令和 6 年度階上町下水道事業会計繰越計算書報告について ※公共下水道事業について、繰越計算書を調製し、報告するもの	報告のみ	—
議案第 1 号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (階上町税条例の一部を改正する条例) ※令和 7 年度税制改正に伴うもの	承認	3 ページ
議案第 2 号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (階上町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) ※令和 7 年度税制改正に伴うもの	承認	3 ページ
議案第 3 号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (階上町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例) ※令和 7 年度税制改正に伴うもの	承認	—
議案第 4 号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和 6 年度階上町一般会計補正予算) ※既定の予算総額に歳入歳出それぞれ 1 億 1,295 万 9 千円を減額、歳入歳出予算の総額を 66 億 9,070 万 3 千円としたもの	承認	12 ページ
議案第 5 号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和 6 年度階上町国民健康保険特別会計補正予算) ※既定の予算総額から歳入歳出それぞれ 4,201 万 7 千円を減額し、歳入歳出予算の総額を 15 億 1,057 万 7 千円としたもの	承認	—
議案第 6 号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和 6 年度階上町介護保険特別会計補正予算) ※既定の予算総額から歳入歳出それぞれ 1,153 万 2 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 14 億 1,884 万 1 千円としたもの	承認	—
議案第 7 号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和 6 年度階上町後期高齢者医療特別会計補正予算) ※歳入歳出それぞれ 146 万 3 千円を減額し、歳入歳出予算の総額を 1 億 8,169 万 8 千円としたもの	承認	—

議案番号	上程議案の件名と主な内容	議決結果	関連ページ
議案第 8 号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和 6 年度階上町下水道事業会計補正予算) ※収入を 488 万 6 千円減額し、累計予算額を 3 億 6,805 万 8 千円とし、支出を 96 万 3 千円増額し、累計予定額を 2 億 9,519 万 6 千円とし、また、既定の資本的収支予算における収入を 50 万円減額し、累計予定額を 2 億 4,762 万 1 千円としたもの	承認	—
議案第 9 号	階上町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※階上町印鑑の登録及び証明に関する事務について、令和 7 年 9 月 1 日から地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第 2 条第 1 項に規定する地方公共団体情報システムへ移行するもの	原案可決	—
議案第 10 号	令和 7 年度階上町一般会計補正予算 (第 1 号) ※歳入歳出それぞれ 9,928 万 3 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 68 億 928 万 3 千円とするもの	原案可決	3・12 ページ
議案第 11 号	第 5 分団屯所移転新築工事請負契約の締結について ※第 5 分団屯所移転新築工事請負契約を締結するもの	原案可決	—
議会案第 1 号	階上町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について ※会議における事前の発言通告について定めるもの	原案可決	—
発議第 1 号	次期青森県議選に向けた選挙区割りについての意見書 ※次期青森県議選に向けた選挙区割りについて、階上町が八戸市に編入されないことを要望するもの	否決	12 ページ

※議長は裁決には加わりません。

定額減税不足額給付とは

令和 6 年分所得税、令和 6 年度住民税、定額減税（所得税及び住民税）の実績額等が確定したことで、令和 6 年度に実施した定額減税調整給付（当初調整給付）の額に不足が生じた場合に、追加で給付を行うものです。

▽6 年度一般会計繰越明 許費繰越計算書報告 【翌年度繰越額】 臨時給付支援サービス 費 23 万 1 千円、低所得世 帯支援臨時給付金事業 3 0 7 万 8 千円、産地生産 基盤パワーアップ事業 1 億 6 3 9 8 万 5 千円、は しかみ生活応援商品券事 業 1 億 3 0 0 3 万 3 千円、 耳ケ吠・寺下線外舗装補 修事業 2 9 3 8 万 4 千 円、道路維持事業 1 7 6 3 万 7 千円、防災備品運 搬車及び防災備品整備事 業 2 0 1 9 万 9 千円。	▽専決処分した事項の報 告及び承認を求めること について（階上町条例の 一部を改正する条例） 【主な改正内容】 ①町民税関係 特定親 族扶養控除（大学生世代 の子等の扶養控除を受け られる収入要件が 1 5 0 万円まで引き上げられ、 さらに 1 5 0 万円を超過 しても段階的に控除を受 けられる）の創設。②軽 自動車税関係 総排気量 1 2 5 cc 以下かつ最高出	▽7 年度一般会計補正予 算（第 1 号） 【歳出の主なもの】 テレビ受信料 2 7 5 万 2 千円、定額減税不足額 給付金 8 2 0 0 万円、コ ミュニティ助成事業（一 般コミュニティ）助成金 2 0 0 万円、単位老人ク ラブ助成金 4 万 8 千円、 コミュニティ助成事業 （自主防災育成）助成金 2 0 0 万円、給食セン ター業務委託料 3 6 8 万 7 千円等を追加。	力 4・0 キロワット以下 の二輪の原動機付き自転 車に係る税率の区分の新 設等。 ▽専決処分した事項の報 告及び承認を求めること について（階上町国民健 康保険税条例の一部を改 正する条例） 【主な改正内容】 国民健康保険税課税限 度額を、基礎課税分（医 療費分）を 65 万円から 66 万へ、後期高齢者支援 金分を 24 万円から 26 万円 へ引き上げ等。
--	--	--	---

一般質問

第3回定例会では7議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。



ここが聞きたい

会議録はこちらから読み込めます。



議会会議録QR

おおした
大下おさむ
修

議員

5 ページ

- 1 衆議院選挙と投票率向上についてーその2
- 2 公示価格について
- 3 不動産鑑定について
- 4 固定資産税について
- 5 旧小舟渡小学校の進捗状況について
- 6 移住定住新築応援事業について
- 7 石鉢小学校改修事業について
- 8 複合施設について

町村議会広報研修会

5月21日、青森市で開催された「町村議会広報研修会」に、議員4名が参加。

- 講師 芳野 政明 氏（議会広報サポーター）
- 演題 議会の「見える化」&住民との「信頼」
築くー議会広報の基本と編集ー



県下町村議会議員研修会

7月10日、青森市で開催された「県下町村議会議員研修会」に、議員13名が参加。

- 講師 伊藤 惇夫 氏（政治アナリスト）
- 演題 今後の政局・政治展望

わたべ
渡部たかあき
高明

議員

6 ページ

- 1 階上町の孤独死と高齢者見守りの現状について
- 2 階上町の学生、若者の定住支援について

こまつ
小松まさひこ
雅彦

議員

7 ページ

- 1 青森県議選の区割りについて
- 2 階上町のお祭りについて

もり
森えいきち
榮吉

議員

8 ページ

- 1 町立中学校の再編に向けた取組について

どばし
土橋みかさ
美加佐

議員

9 ページ

- 1 階上小学校閉校後、町として利活用を考えているのか
- 2 階上町の学校評議員について

なかしま
中島こういち
孝一

議員

10 ページ

- 1 現民俗資料収集館の老朽化などについて

しもさわ
下沢いくお
育男

議員

11 ページ

- 1 町民の暮らしに届いた成果と次のステージへの決意について

連携中枢都市圏の形成に関する講演会

7月15日、三戸町で開催された「連携中枢都市圏の形成に関する講演会」に、議員13名が参加。

- 講師 村上 仰志 氏
総務省 自治行政局
行政経営支援室長兼地域DX推進室長
- 演題 自治体DXの現在地





大下 修
おおした ちゅう
議員

不動産鑑定契約への見解は

〔町長〕 随意契約、指名競争入札とも所定の
手続により選定を行っている

問①

指名競争入札
100%、随意

契約89%。旧大蛇・小舟渡小学校跡地を周辺地価の4分の1と評価、集会所土地購入に際して現状地目「畑」を「宅地」と評価した会社の指名競争入札、随意契約は正しく行われているのか見解を伺う。

答①

町長

旧大蛇・小舟渡小学校跡地、小舟渡集会所の評価も法令に則り適切に実施されている。一方で契約における公平性、透明性、競争性の確保は極めて重要な課題。今後は、複数の業者からの見積りや指名業者の拡大、業者選定における客観的な基準の明確化など、適正な契約執行体制に努める。

固定資産税が変わらない理由は

〔町長〕 固定資産評価基準に従い公平
公正に実施

問①

田畑、林地、
原野などの所有

者に納税義務者の負担を考慮して税額を決めることは、他の納税者に対して公平公正の観点から適切なことなのか伺う。

答①

町長

田畑、山林、原野等の標準地の地勢や面積、形状及び周辺状況に変化が見られないため、単価を据え置いている。当町における田畑、山林、原野等の売買実例が少なく、少ない実例を用いて固定資産税を算出すると、著しく高額となるため、納税者の税負担を考慮しているところ。固定資産の評価及び価格の決定は固定資産税評価基準に従い公平公正に実施しており、今後も地価の変動に注視し適切な賦課に努める。

町内住宅関連事業者の補助増額を

〔町長〕 調査分析を行い、総合的に検討

問①

移住定住新築
応援事業は、人

口減少抑制と町内の住宅関連事業者の活性化を図る目的で事業を実施。しかし、町内住宅関連事業者の利用実績は30%に満たない状況。町内の住宅関連事業者の補助を増額し町内住宅関連事業者の活性化を図ることが必要では。

答①

町長

今後、制度利用者や町内住宅関連事業者へのヒアリングを通じて増額が移住定住の促進や町内住宅関連事業者への受注増に与える影響について調査分析を行い、今後の補助金の在り方について総合的に検討してまいりたい。





渡部 高明 議員

孤独死と高齢者見守りの支援は

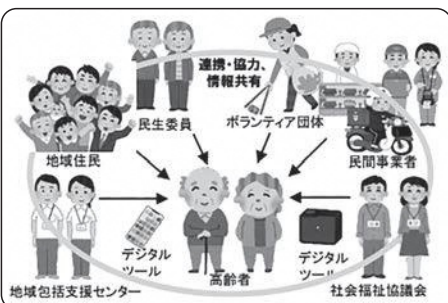
〔町長〕 関係機関と連携して支援を行う

問① 階上町内の一
人暮らしの世帯
数、そのうち65歳以上の
パーセンテージ、民生委
員の相談件数、内容、町
の高齢者世帯への見守り
支援について伺う。

答① 町長
令和2年国勢調査で2
158世帯、そのうち
65歳以上は653世帯
で、一人暮らしに占める
割合は、30・3%となっ
ている。民生委員への相
談件数は914件。内容
としては、日常的支援、
健康・医療など。高齢者
世帯への見守り支援とし
ては、民生委員の見守り
活動のほか、ほのぼの交
流協力員の活動、老人ク
ラブによる友愛活動など
がある。関係機関と連携
しながら支援を行っている。

か。また、政府の孤立・
孤独対策重点計画の決定
を受けた県の取り組み
を、さらに町の民間事業
者との協力について伺う。

答② 介護福祉課長
民生委員は32名で、世
帯数では、一人当たり1
82世帯となっている。
青森県は孤独・孤立対
策推進プラットフォーム
を設置している。町でも、
郵便局、乳製品や食料品
等配達業の方々と、高齢
者等見守りの取組に関す
る協定書を取り交わして
いる。今後更に民間事業
者との仕組みづくりに取り
組んでまいりたい。



複層的な見守り活動のイメージ図

学生、若者の定住支援の 施策は

〔町長〕 若者の力を地域の活力とする
ことを目指す

問① 若者の定住促
進や地域参画の
支援も、将来の町の活性
化に向け重要であると考
える。そこで、階上町と
隣接する高等教育機関と
の関係性について伺う。

答① 町長
八戸学院大学及び短期
大学部とは、平成27年3
月に包括連携協定を締結
し、まちづくりや健康づ
くりなどの分野を、八戸
工業大学とは、平成30年
9月に包括連携協定を締
結し、防災・環境・エネ
ルギーなどの分野で着実
に連携を深めている。

一方で、八戸工業大学
第二高等学校とは、現
在のところ連携協定はな
い。

問② 単なる連携協
定に終わらせる
ことなく、具体的な研究
課題の投げかけや、積極
的な交流の機会を図って
いただきたい。企業見学
やインターンシップを行
うのはいかがか。

答② 総務課長
地域イベントなどさま
ざまな形で地域交流を深
めたい。企業見学やイン
ターンシップも、受け入
れの可能性を調査研究し
ていきたい。

総務課長

階上町役場でのイン
ターンシップは進路検討
に有効な制度。学生の受
け入れ体制を今後調査し
てまいりたい。



八戸学院大学短期大学部の学生による読み聞かせの様子（町民文化祭）



小松 雅彦 議員

県議選の選挙区割りへの見解は

〔町長〕 意見を申し述べる立場にない

問①

次期青森県議選に向けた選挙区割りや定数の見直し案で、階上町を八戸市に編入すると報道された。

当町は、三戸郡という区割りの中で、長く連携をし、助け合い良い関係を築いてきた。

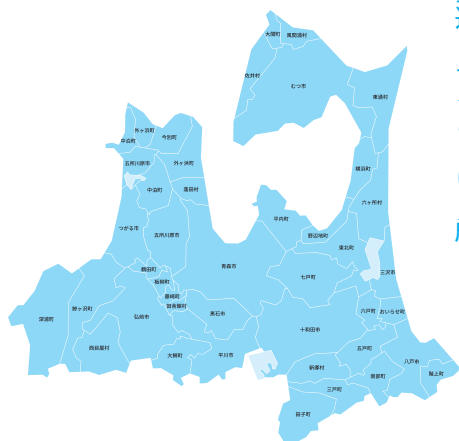
当町は三戸郡である。さらに交流を深め、信頼を増し、お付き合いをしていかなければならない。県会議員がいない当町は、三戸郡選出の議員に県とのパイプ役をしていただいている。県とのパイプ役がなくなるだけでなく、当町の県議会議員を当選させることは、厳

しくなる。区割りに対しての町長の見解を伺う。

答①

町長

県議会議員の選挙区割りや議員定数の見解については「青森県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員数に関する条例」により定められるものであり意見を申し述べる立場にない。



町民のためのお祭り創造を

〔町長〕 慎重に見極める

問①

核家族化が進みつながりが薄くなってきた。協働の町づくりや、防犯、大規模災害に力を発揮する共助等は難しくなっている。そんな難問を解く力ギがお祭りにあると思う。お祭りは人間と神々、自然との交流。神々や自然を畏敬し、感謝することで豊かな収穫や安全な狩猟、漁獲を願うもの、自然災害や疫病などから身を守り幸せな生活を送るために生まれたものだと思う。非日常の「ハレ」であり、華やかに執り行う。「ケ」の日常をリセットする意味がある。「ハレ」の機会を楽しみに、「ケ」を生きる源として

答①

町長

町民の主體的な関わりや熱意が何よりも重要である。町主導で新たなお祭りを立ち上げ、継続的に運営していくことには慎重に見極める必要がある。地域団体や有志の皆様が新たに取り組む際には、必要に応じてアドバースや助言を行い、関係する補助金制度の案内など可能な支援を行う。

問②

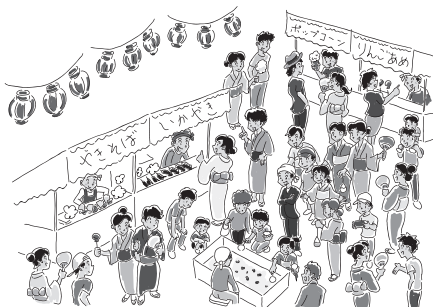
町全体のお祭りとなると参加

団体が多く、いろんな意見が交わされるため、入り口を町が指導してほしい。

答②

総合政策課長

町民の主體的な関わりや意欲が大切。町は必要な助言や補助制度の案内などできる限りの支援を行う。





森 しろ
榮吉 議員

中学校再編の取り組みは

〔教育長〕 地区説明会を行い、委員会で審議・決定

問①

第6次行財政改革実施計画に

おいて、中学校の再編について検討を始めることあり、その計画に基づき昨年9月から10月にかけて保護者と生徒に対しアンケートを実施したとのことである。

昨年12月3日の全員協議会において示された結果によると、現存する階上中と道仏中の2校の統合問題について示された結果は概ね保護者については階上中、道仏中共に統合に賛成。生徒については階上中が賛成、道仏中が反対者が多数を占めたようである。令和7年度からはアンケートの結果を踏まえ地区および保護者への説明会等を行い学校再編に向けた検討をしていくこととしている。

今後の方向性、スケジュール等について町、教育委員会の考えを伺う。

答①

教育長

アンケートについては平成19年度に策定した「階上町の学校適正規模及び適正配置の考え方」において、本町の少子化傾向に鑑み、中学校再編の取り組みを第6次行財政改革実施計画に位置付け、令和6年度から検討することとし、昨年9月から10月に実施した。

結果について保護者全体では「賛成・どちらかといえば賛成」が65・7%、「反対・どちらかといえば反対」が13・4%。同様に階上中生徒では賛成寄りが53・5%、反対寄りが31・2%、道仏中生徒ではそれぞれ30・2%、55・8%であった。生徒全体では、賛成寄りが48・9%、反対寄りが36・1%という結果になった。

今後の方向性やスケジュール等については、今年10月頃に石鉢小学校区、階上小学校区を含めた赤保内小学校区および道仏小学校区の3か所で

問②

今後の中学生の人員構成の見

通し並びに階上中、道仏中の校舎等の耐用年数について伺う。

答②

教育課長

令和7年度における階上中の生徒数は207人、道仏中43人、合計250人。今後の生徒数の見通しは、5年後の令和12年度は、階上中212人、道仏中は40人、計252人、10年後の令和17年度は、階上中154人、道仏中20人の計174人程度が現時点での見通し。

校舎等の耐用年数の件については、校舎は47年、体育館は34年となり、階上中の旧校舎は築後53年、道仏中の校舎は築後44年が経過している。

中学校再編については学校施設の在り方も含め取り組んでいきたい。



学校再編の方向性が検討される階上中学校（右）と道仏中学校（左）





土橋 美加佐 議員
どばし みかさ

階上小学校閉校後の利活用は

〔町長〕 幅広い視点から柔軟に検討する

問①

令和7年度
いっぱいまで閉校

となる階上小学校は、平成6年度から現在の校舎が活用され31年が経つ。閉校となった各学校は、さまざまな用途で活用されている。集会所としての活用、そば打ち、飲食店、そして体験ができる場所、各イベント、催し物や、階上町民俗資料館で保管しきれない物の保管庫としての活用。田代小中学校は、主に八戸市が活用している状況。旧大蛇小学校と小舟渡小学校は町として貸し出している状況。

答①

町長

町内で閉校となった学校については、それぞれの地域の特性やニーズを踏まえながら、活用してきた。階上小学校についても、今後の利活用に当たっては、地域の皆さま

の声をしっかりと受け止め、未来につながるような活用方法を目指す。

問②

既存の小学校
を活用し、教室

内のリフォームを行い、この機会に温泉施設や宿泊施設を作ってはいかがか。

答②

総合政策課長

今後の利活用の方向性については、地域の皆さまのご意見を伺い、財政



令和7年度で閉校となる階上小学校



面や運営面の課題整理を行い、丁寧に検討してまいりたい。

学校評議員の意見の把握は

「教育長」より開かれた学校づくりを
推進していく

問①

町教育委員会
は、学校評議員

を何名配置し、また、学校運営に対する意見を把握しているのか伺う。

答①

教育長

学校評議員の配置は、石鉢小学校に4名、赤保内小学校に5名、階上中学校に5名配置しており、1会議につき一人当たり5300円報償をお支払いしている。

ご意見については、学校運営や教育目標等に対し意見が述べられ、安心安全な教育環境の整備、不登校傾向児童生徒への対応、教職員への評価など多岐にわたる。

問②

町から報償が
支払われている

ので固定化することなくさまざまな立場の方から評価をいただくことが望ましい。

答②

教育課長

学校評議員の構成が長期間固定されることなく、多くの方、さまざまな立場の方からご意見を伺うことで、より開かれた学校づくりが推進されていく。また、学校および地域と日頃から関わりを持ち、実情を把握している方が限られていることも現状である。人数や任期など具体的な在り方について、改めて検討してまいりたい。



中島 孝一 議員

現民俗資料収集館の老朽化が心配

〔教育長〕 複合施設整備と合わせ検討

問① 町の民俗資料収集館は建設から半世紀以上が経過した木造平屋の建物である。歩くと軋む板の間、壊れかけた壁の一部、剥がれかけ雨漏り跡のある天井板など、とても町内外のお客さまを案内できる状況ではない。現在事業進行中の複合施設は完成まで5年を要する。その間、この建物で民俗資料等を無事に保管し続けることができるのか。速やかに安全な施設に移し替えるべきだと考えるがいかがか。

答① 教育長 民俗資料収集館は、今年度で建築から58年が経過し、著しく老朽化が進んでいるため、建物自体を危惧しており、町の歴史資産となる各種資料の保全については、複合施設整備と合わせ、検討してきた。

問② 金山沢水郷館は、築32年目の広さ約2000㎡、鉄筋

コンクリート2階建、一部地下造りの旧金山沢小学校で、金山沢行政区の集会所として、また役場教育課が考古資料や民俗資料の収蔵庫として共同で使用している。

この施設は堅固で、管理状態も良く綺麗な立派な建物である。この施設なら全ての資料の一時保管場所、あるいは考古資料民俗資料の整備・補修作業場、記録保存のための撮影や、誰もが調べ見て活用できるようにデジタル化などの作業場として、十分な施設環境だと感じた。



民俗資料収集館

複合施設整備事業が動き出したこの機会に、速やかに民俗資料収集館から保管展示の資料を移動すべきと考えるがいかがか。

答② 教育長

今後は、計画的な金山沢水郷館への移管など、複合施設開館までの資料の保全方法について、改めて検討してまいりたい。

問③ この金山沢水郷館には、未整理の資料が保管されていて、この機会に整理し記録し、また施設完成時の展示構想や計画の作成、展示品の補修整備などの準備作業も開始するべきと思う。

そのために、専門的な知識を持った専任の人員と相応の作業員が必要である。現状適切な人員がいなければ確保し、または速やかに育成することが必要と考えるがいかがか。

新施設を運営するには、図書館司書や資料館



展示されている民俗資料

の学芸員、それに準じた専門的な知識を持ち業務を行う人員が必要になると思われる。

今後の人員計画についても鋭意進めるべきと考えるがいかがか。

答③ 教育長

適正かつ円滑な開館準備と施設運営のために、これら有資格者の専任による配置が望ましいと考えている。町部局と連携し、町職員における図書館司書および博物館学芸員の有資格者の把握、必要に応じ有資格者

の採用の検討を行う一方で、専門的知識を持った外部委託による複合施設の管理運営についても検討していく。

教育課長

民俗資料収集館から金山沢水郷館へ資料を移動後、整理記録保存作業や複合施設での展示保管する資料の選別作業等を行うこととしており、これらの作業には、相当の作業期間が必要と考えており、計画的かつ専門的に作業を進めるよう努める。



展示されている民俗資料



しもさわ
下沢 育男 議員

町民の暮らしに届いた成果と 次のステージへの決意

〔町長〕 2 期目に向けて全力で取り組む

問①

これまでの3
年半を振り返っ

て、特に町民の暮らしに届いたと実感している政策、あるいは町政の中で特に手応えを感じている分野について伺う。

次に、残された任期はもとより、町民とともに次なる階上町の未来を切り拓いていく上で、どのような展望を持っているのか。また、その実現に向けて、どのような姿勢で町政に臨んでいくのか、町長の考えを伺う。

答①

町長

私はこれまでの約3年半、現場主義と対話重視を基本姿勢に掲げ、町民の皆さまお一人お一人の声に耳を傾けながら、町民とともに歩む町政の実現を目指してきた。

新型コロナウイルス感染症への対応においては、全ての町民が安心してワクチン接種を受けられるよう取り組み、また、町独自の支援金の給付や暮らし応援商品券の配布

など、生活に寄り添う支援策を実施してきた。

地域経済の再生や人と人とのつながりの再構築に向けて、町内イベントの再開や観光、交流の促進。更には全国巨木フォーラム青森・階上天

会を開催し、町が誇る豊かな自然と文化を全国に広く発信した。また、急激な物価高騰への対応では、特に影響の大きい低所得世帯や子育て世帯に

対し、給付金の支給や学校給食費の無償化など、暮らしの安心を支える支援策を着実に実行した。子育てや教育環境の整備

においても、0歳～2歳児の保育料や高校卒業までの医療費の無償化に加え、3歳～5歳児の給食費の助成。英検、漢検などの検定料の助成。タブレットやデジタル黒板の導入など未来を担う子ども達の成長と学びを全力で後押ししている。

施設へのエアコン設置、旧小学校施設の活用や企業誘致も少しずつ形になってきており、地域資源を生かした新たな挑戦が町の未来に明るい兆しをもたらしていると実感している。

任期の終盤を迎え、階上町が選ばれる町、住みたい町の実現に向けて、これまで以上に町民の皆さまと力を合わせ、人口減少や少子高齢化、インフラ整備、地域経済の活性化など大きな課題に全力で取り組んでいく。子育て、教育、福祉、雇用、地域づくりの各分野で持続可能なまちづくりを更に進化させ、安全安心で暮らし続けられる町としての基盤を強化していく。

そして、階上町の発展と町民の皆さまの幸せな暮らしのために尽くすという思いは就任当初から今も変わることはない。

これまで社会を構築し、守り続けていただいた全ての方に感謝しながら、

ら、適宜に最善を尽くし、次世代を担う子ども達を思い、より良い未来へとつなぐべく皆さまと共に歩み、2期目に向けて全力で取り組んでまいります。





第3回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

専決処分（6年度一般会計補正予算）

熊谷 道雄 議員

◆児童手当費

問 児童手当費1408万5千円の減額理由は。

答 すこやか健康課長 国のこども未来戦略に基づき、令和6年10月から支給対象が高校生年代まで拡大されるとともに、所得制限の撤廃や第三子以降の支給額が月額3万円に引き上げられるなどの制度改正が行われた。第三子以降の該当児童が想定より少なかったこと、公務員世帯分については勤務先の所属庁が支給を行うことになったこと、転出による児童数の減少などが重なったためである。

7年度一般会計補正予算

大下 修 議員

◆定額減税不足額給付金

問 権利のある方の人数、確実に恩恵を受けるための方法、今後の予定は。

答 税務課長 不足額給付①1500人、不足額給付②800人の計2300人を見込んでいます。該当すると思われる方にはお知らせすることを考えています。また、広報、ホームページで周知を徹底する。8月1日から受付を開始し、10月31日を申請期限としている。

大下 修 議員

◆給食センター業務委託料

問 3月に1億3200万円を予算計上したばかりなのに368万7千円を補正する理由とその内容は。

答 教育課長 燃料費高騰により令和6年度分の電気料金が不足したことに伴い、増額分を補正するもの。令和6年度の電気料金、水道料金、下水道料金を精査した結果、今回368万7千円の補正が必要になった。

発議第一号 次期青森県議選に向けた選挙区割りについての意見書

提案理由

百目木 和俊 議員

2027年春の次期青森県議選に向け、青森県議会では、「一票の格差」の是正や、「飛び地」の解消、1人区の解消などを目指し、16ある選挙区の区割りや定数などの見直しを検討してきており、三戸郡で飛び地の階上町を八戸市に編入し、定数8を維持、三戸郡の定数は3から2に削減するという案も示されている。

階上町が八戸市に編入された場合、階上町民には今後の選挙や生活に影響が生じることが懸念される。

見直しの検討が進む中で、三戸郡が割れることなく一丸となっていること、そして、階上町民の声が県政に反映されることを切に願い、次期青森県議選に向けた選挙区割りについて、階上町が八戸市に編入されないことを強く要望する。

反対討論

中島 孝一 議員

この検討は、議員一人当たりの人口の格差問題、飛び地の発生、一人区の問題など、人口減少や時代の変化とともに生じた歪みを是正すべく、公職選挙法の改正により進められているものである。

市を中心の一つの経済圏を構成する市町村を束ねて選挙区を設定することは、実際の合理的である。

賛成討論

土橋 美加佐 議員

条例改正案の報道が出る前に、まずは県議会の方が話をするべきではないかと思っている。

今後、町に何らかの影響が出てくるものと思われる。

県議会の条例改正前に、微力でもここで声を上げるべきだと思う。

反対討論

下沢 育男 議員

選挙区割りについては、ルールに沿った県議会決定事項であり、階上町議会として県議会へ発信していく事項ではないと考える。

第4回臨時会

7月15日に召集された令和7年第4回臨時会では、議案1件が上程され、審議の結果、全会一致で可決されました。

■石鉢小学校屋内運動場解体工事請負契約の締結について

契約額 1億1423万6988円

契約者 有限会社興和建設

大下 修 議員

問 どのようなことが要因で令和2年、3年の旧大蛇小、旧小舟渡小解体の数字と比べて金額が高額になっているのか。

答 教育課長 数年が経ち、物価高騰、人件費も上がっている。今回の解体工事については、体育館の物を移設するためのプレハブの設置工事も含まれており、この金額になったもの。

議員県外視察研修



7月6日～9日、東京都、神奈川県、千葉県への県外視察研修に全14名の議員が参加しました。

月日	訪問先	研修内容等	テーマ
7月6日 東京都	ふるさと はしかみ会 活動報告会	同会は、主に階上町の出身者で組織しており、会員相互の親睦を深めるとともに、会員各位と階上町の発展のために活動しています。首都圏在住の会員の方々と意見交換を行いながら交流を深めました。	
7月7日 神奈川県 三浦市	日本さかな 専門学校 	同校は、2023年4月に開校した「漁業」、「調理と食品学」、「観光・レジャー」、「環境」の4つの分野を総合した「さかな学」を学ぶ、日本で初めての専門学校で、授業の風景や学生の動向、漁業の新規就業者の育成・確保の課題等について研修しました。	漁業の新規就業者の 育成・確保 
	神奈川県 水産技術センター 	「キャベツウニ」や「藻場や磯根資源」など、同センターで行っている「きれいな海」を守り、「新鮮な魚」を提供する水産業の振興を目的として、資源管理型漁業や栽培漁業の推進、水産物の加工利用、海況・漁況情報の活用、水域環境の保全などに関する研究について研修しました。	磯資源の確保  (キャベツウニ)
7月8日 千葉県	あわ きよなんまち 安房郡鋸南町 	同町の、廃校を活用し、過疎化や高齢化が進む町の活性化の起爆剤として開校した「都市交流施設・道の駅保田小学校」について研修しました。	廃校活用  (道の駅保田小学校)
	かとり たこまち 香取郡多古町 	「住みたい田舎」ベストランキング子育て世代部門、首都圏エリア第2位（宝島社「田舎暮らしの本」2024年版第12回ランキング）、第5回「日本子育て支援大賞2024（自治体部門）」を受賞した同町の子育て支援対策について研修しました。	少子化対策  (一社)日本子育て支援協会
7月9日 千葉県	かとり こうぎまち 香取郡神崎町 	神崎ふれあいプラザは、文化、教育、福祉、そして健康づくりの拠点として建設された複合施設で、文化ホールは、広々とした大空間を演出する展示ホール、視聴覚室、図書室の他、402の電動移動座席を有する多目的ホールを備え、町の多彩な行事が行われています。また、保健福祉館は、保健関係各指導室、調理実習室を備え、町福祉行政の中核をなしており、その状況について研修しました。	複合施設  (神崎ふれあいプラザ)

県外視察 研修報告

日本さかな専門学校
(神奈川県三浦市)

上道 二三男 議員

これまでの水産高校とは別の「さかな」を総合的に学ぶ専門学校に全国から72名の生徒が学び、さかな博士を目指したり、さかな学を修得し、養殖業、レジャー産業、漁業、食について深く研究している。「小型船舶操縦士免許」「潜水士」「スキューバダイビングライセンス」などの資格取得をサポートしている。



大江 和夫 議員

若い方々が将来漁師を目指し入学し、1年から4年生まで未来の漁師として学術的に学んでいる。魚の生態や漁師不足の昨今に、これから若い方々が魚と言う専門知識を身に付け魚、漁業と言う事を実学している。

森 榮吉 副議長

当施設は日本初の「さかなを総合的に学ぶ専門学校」。室内講義では当学校への入学方法、入学後のカリキュラム等の説明が主であり、海業の担い手を育成する機関である。学校のキーコンセプトは「さかなを育てる、食する、愛でる」。水産業の再興を期待する。

大下 修 議員

高校を卒業した生徒を募集して2023年4月開校した4年生の学校。さかなに特化した「漁業」「調理・食品学」「観光・レジャー」「環境」の分野を総合した「さかな学」で面白さのある若い学校だが、教員確保、就職先

の確保など暗中模索しているようだ。



渡部 高明 議員

日本で唯一の、さかなに関する専門学校で高校と大学の中間の学校である。全国的に専門学校の学生が減る中で、特色ある分野に特化したことが良かったと思う。また、首都圏に近く、漁港を持つ地理的優位性がポイントだった。階上町に同種の学校を設置して成功するかは別であるが、港漁を5つ持つ町として活性化の参考になった。

小松 雅彦 議員

日本初の「さかな」を総合的に最適な環境の中で、実習中心に学ぶ学校。

魚産業の未来を担う「海洋生物研究学科」と魚関連の様々な職種を目指す「海洋生物学科」がある。東北では認知度が低いようだが、さかな好きの人や魚関連の職業に就きたい方にとって大変興味深い学校であると感じた。

小坂 正年 議員

さかなという豊かな海の恵みを次世代に引き継ぐことを命題として、海洋生物研究学科4年生と、海洋生物学科3年生で学ぶ日本で初めての専門学校。小さい頃からの夢を実現させるため、全国からさかな好きが集まっている座学の少ない実習中心の学校で、これからまだまだ必要になる学校だと思った。

林 貢 議員

まず、海のおいのする場所に建設されなければ意味がないという事に感心した。そのことに合わせて、他の水産高校、水産大学とは少し異なっていた存在の学校であり、今後、卒業生が多く出てき

たときに、その専門性が期待されるのではないかと感じた。今後は現状の海の変化に応じた魚種への対応を考えて行かなければならない。



中島 孝一 議員

三浦半島先端の三崎港内に「日本さかな専門学校」が建っている。国の補助を受けず、県や地元

の支援で半島の自然や施設をフル活用し、実習を中心とした教育を行うと3年前に開校し、現在230名の魚好きな若者達で、最上階の教室や各所現場で、各地の講師から授業を受けている。道を決め入学する専門学校

と異なり、広く学びながら将来の職業を選択し、夢をつかむための学校であるとの説明に、後継者育成への熱意と新鮮さを感じた。

神奈川県水産技術
センター
(神奈川県三浦市)

上道 二三男 議員

全国的に磯焼けが進み、対策として餌を育てる研究が進められ現場を見る事が出来た。今後海水温が高い状況が続くと見込まれ、これまでの獲る漁業から育てる漁業への研究が進められ、養殖に適した魚の研究が進められている現場を視察出来た事は勉強になった。

大江 和夫 議員

水産資源の減少に伴う技術的な改革であると思う。ただ現実的には、まだ遠いと感じる。早く技術を改革して全国的に広めていければ素晴らしいと感じた。

森 榮吉 副議長

三浦半島の最先端、城ヶ島に位置する当センターは、キャベツウニで注目される施設であり、研究の一つが藻場造りに力を入れているということ。藻場を再生させるために早熟カジメを育てる。藻場にする区域からムラサキウニは駆除する、駆除したウニにキャベツを餌とし付加価値をつける、という循環か。階上町でも応用が可能では。



小松 雅彦 議員

全国的な磯焼け対策として、キャベツで育てるムラサキウニの飼育や藻場再生のためのカジメ養

殖等を見学した。階上町のウニはキタムラサキウニで種類が違うが、キャベツ等の餌の活用や、わかめや昆布の養殖で藻場の再生を図ると共に、陸上養殖と海洋養殖の組み合わせができないか考えさせられた。

小坂 正年 議員

近年、海水温の上昇等により磯焼けが発生して、階上町でも問題となっている。そのことが原因で、「ウニ」の実入りが少ないと餌の研究をしている所を見学させていただいた。キャベツ、きのこ等いろいろな餌を試している。

林 貢 議員

当センターの組織が確立されており、その組織力によって業務が専門的になっており、特に藻場再生研究、茜身（マグロ血合肉）による末病改善等に重点がおかれていることに興味を持たされた。また、特に階上町に大きく関連のある「磯焼け」による海藻類の減少へ

の対策」には大きな関心を持たされた。



中島 孝一 議員

当センターのトップックスは、この30年で80%消失した藻場の再生事業で、再生が早い早熟カジメを使用し、苗を移植したロープを、ウニやアイゴを駆除した海藻畑に一定間隔に設置する。また、アルミ製の籠で保護し海底に設置し、藻場の再生を目指す試験を実施中とのお話があった。その後、屋外試験場で、早熟カジメの培養状況や、ウニのいろいろな餌による培養試験状況等を見学した。

**都市交流施設・道の駅保田小学校
(千葉県安房郡鋸南町)**

上道 二三男 議員

全国からの視察があり、人気の道の駅を見る事ができた。私が特に注目したのは、宿泊施設で、教室を二つに仕切り、畳のベッドを置き、布団や枕は貸し布団店から、シーツや枕カバーはリネン店に委託し、直接在庫をしていない。宿泊客の対応は3人のスタッフがローテーションで夜間は1人体制で行っている事を聞くことができて参考になった。

大江 和夫 議員

アイデアは、素晴らしいと思う。全国的に少子化が進む中、廃校が増えている。このような活用方法は、斬新的で良かったと思う。ただ資金的な面から見て行政からの資金、あるいは指定管理の面でも企業の資金力が必要であると考え。これからは、アイデアを持つ

て廃校の活用および運営が必要だと思う。

森 榮吉 副議長

小学校を改装して造られた産直市場を始め、レストランや宿泊施設を備えた「道の駅・保田小学校」。運営する指定管理者の担当者によると創業時のプロポーザル応募事業団体は37者、選出されたのが当該管理者で総事業費は過疎対策事業債、一般財源等12億円余のこと。閉校舎の利活用に関し大いに参考にすべき事例と感じた。

大下 修 議員

房総の鋸南町の過疎化や高齢化が進む町の廃校利用した道の駅と小学校のノスタルジックな雰囲気や高齡化が進む町の廃校利用した道の駅と小学校のノスタルジックな雰囲気を売りとした都市交流施設。首都圏の顧客をターゲットとして成功した民間会社の一例。首都圏では民間会社が行政をフォローしていることにさすが民間と驚きを覚える。

渡部 高明 議員

廃校利用は全国的に自治体の課題であるが、成功の力がいくつかあると感じた。ただ廃校の利用者を募るのではなく、廃校利用の目的、コンセプト、そのための初期投資を自治体がきちんとすることである。視察先は学校という施設のもつ特色を徹底して活かして成功していた。その際も、首都圏からのレジャーの流れを十分に考慮していた計画であった。



下沢 育男 議員

農村漁村プロジェクト活性化交付金及び町の補助金（12億5千万円）で小学校・保育園を増改築

し、指定管理料0円で一企業が企画・運営管理まで行っている。当初は、大学生等とタイアップし企画を立て、広く意見を聞き設立した。今日では収益を上げ利益の6割は町に戻している等、今後参考にすべき点が多かった。



百目木 和俊 議員

南房総特有の温暖な気候に恵まれた地域性、立地条件の良さ（大都市からのアクセスの良さ）に伴い、年々利用者数の増加につながっている。鋸南町で2014年閉校になった保田小学校を、高齢化率50%、第一次産業

の担い手不足の中、農林

水産省、国交省の補助金、町から3億円、過疎債5億円を活用し、改修工事を行い、約10年で入場者数97万人、年間売上10億円、従業員70人を雇用している。宿泊施設、入浴施設もあり、大きな決断で改修したものと思う。その他、女性、子ども達が喜ぶような食べ物、お土産の開発に力を入れている。集約人数を増やすためマスコミ、テレビ等の活用が大事。

長根 岩夫 議長

高齢化率では、千葉県の一歩リード2位であり、町では地域活性化を図るために、他に例を見ない特色のある道の駅を目指し、初期投資は12億5千万をかけ、プロポーザルでは37者の応募があった。物品販売では、令和6年に6億円を売り上げ、宿泊や食堂等で計10億を売り上げている。収益の4割を町に収め、その2割は積み立てし、修繕費に充てている。当初財源に農水省交付金を

活用している。

熊谷 道雄 議員

鋸南町は、人口は階上町の約半分、当町と同じく海と山のある美しい町。道の駅保田小学校は代表的な観光スポットの一つで、閉校となった保田小学校の建物をそのまま利用し、リノベーションした道の駅。体育館は特産品販売の直売所、教室は観光客向け宿泊施設で時間の都合で全館見学できなかったが、各種店舗が並び活気が感じられた。

土橋 美加佐 議員

首都圏から、東京アクアラインを通り、1時間30分という交通の便が良い所だと思う。小学校閉校前から、行政とコーディネーターの方と協働で、閉校後の活用を考えていたことは、とても大切なことだと思った。階上町も、閉校になってからその建物を貸し出すのではなく、少し手を加えてからどのように活用していくのかの考えが必要。

多古町

（千葉県香取郡多古町）

大下 修 議員

階上町と人口規模、世帯数、人口減、出生数とも似た町である。「住みたい田舎」子育て世代部門の首都圏バストラッキング第2位の町。人口減、移住定住、少子化対策、子育て支援等を含み大いに学び参考となる政策が多々ある町である。名前が似ている田子町と姉妹都市。



渡部 高明 議員

住みたい田舎バストラッキングの子育て支援対

策の充実ぶりを見せられた。それが出来る条件を階上町と比較しながら検討すべきだと感じた。町の主要施策を決めるに際して、行政側だけでなく、議会からの働きかけや、政策立案過程の合意形成と透明性が今後、階上町にも重要になると考えた。

下沢 育男 議員

多古町は人口減少対策として約7億円の成田空港対策費等を使い、子育て支援対策（3つの0運動・医療費、給食費、待機児童）を柱に、首都圏及び成田空港を結ぶシャトルバスの充実・住宅支援等も併せて行い、首都圏内で住みたい田舎「子育て世代部門」第2位に輝いている。人を引き寄せる対策を今一度見直し進めていきたい。

百目木 和俊 議員

名前のとおり、田子町と交流あり。人口約1万3千人の町であり階上町と同等。自然に恵まれた農産物の宝庫、そし

て立地条件の良さ、都心に通えるアクセスの良さ、成田空港にも近く、将来明るい展望のある町であると思う。移住定住を促進し、人口減少に歯止めがかかっている。子育て、仕事、住まい等色々な支援策を行っている。階上町においても、同等の支援策を行っているが、地域性、立地条件の差がある。

長根 岩夫 議長

人口、予算とも階上町と同程度の規模である。住みたい田舎バストラッキングの子育て世代部門において、都市圏エリアでは第2位となっている。特に3つのゼロを掲げ、①大学生まで医療負担0円、②こども園から中学生まで給食費0円、③待機児童0人と階上町の施策と近似している。主な財源としては、成田空港対策交付金が充てられている。

熊谷 道雄 議員

千葉県北東部の多古町は、成田国際空港に隣接、

人口は階上町とほぼ同じく1万3千人。田子町と交流しているとのこと。例にもれず人口減が問題で、対策の柱が子育て支援で各種教育サポート、移住者支援、移住者に対する新築中古住宅取得奨励金支給等、充実している。

土橋 美加佐 議員

多古町は、鉄道が無い所だが、成田空港までシャトルバスが出ており約20分と近い。そのためか、大企業が進出し、成田空港に隣接する生産・物流拠点となっており、行政としても役立っているとのこと。町全体が暮らしやすく、暮らし続けたい町と、将来像がはっきりと見えた町であった。

こうぎ 神崎ふれあいプラザ (千葉県香取郡神崎町)

下沢 育男 議員

神崎ふれあいプラザは町直営で、文化ホール・保健福祉館の複合施設

25年。その他、図書室・学童保育室・社会福祉協議会など活動していた。この施設は、生涯学習と保健福祉に特化しており、階上町の複合施設は図書館・民俗資料館が主なので他の施設をたくさん参考にして進めていきたい。



百目木 和俊 議員

平成13年に完成し、20数年経ち、改修工が必要となっている。文化ホール、保健福祉館を兼ねている。文化ホール(図書室を含む。)等の利用者年間700人程であり、少なく感じた。現在、階上町で進めている複合

施設について、資料館、図書室の2つの施設だけであり、町民の反対の意見に耳を傾け、立ち止まり、再検討が必要だと思う。

長根 岩夫 議長

北総と呼ばれた地域であり、圏央道が整備され、首都圏へのアクセスも良くなりつつあるが、人口では県で最も少ない6千人弱である。発酵の町として発展が期待される。ふれあいプラザは、生涯学習や保健福祉施設等を平成13年に約20億かけ整備している。図書の蔵書は少なく、司書1名に手伝い4名である。役場とは100m以内で、施設活用は容易である。

熊谷 道雄 議員

人口5600人の千葉県で最も人口が少ない町。日本酒、みそ、醤油などの発酵食品が有名。402席の電動移動座席を備えた多目的ホール、図書室、視聴覚室、各種研修室を有する文化ホールと保健福祉館を併設す

る複合施設である神崎プラザは、驚くほど豪華で羨ましい限り。

土橋 美加佐 議員

千葉県で小さい町であるが、発酵の町として昔から栄えている。文化ホールには電動移動座席を有する多目的ホールはあるが、修繕費が高額だとのこと。図書館ではなかったが、町直営で教育委員会が管理している。保健福祉関係施設としての施設である。地域の方々がふれあえるコミュニティの場であり、愛されていると感じた。

小松 雅彦 議員

人口増加が見込まれる中で地域文化の創造と発展、これからの保健福祉を支える待望の複合施設として誕生した。20年を経過して維持補修に費用がかかっているとのこと。階上町では、図書館と民俗資料館の計画が進んでいるが、コンパクトシティを念頭に進めていかなければならないと改めて感じた。

小坂 正年 議員

神崎ふれあいプラザは、平成13年から業務を開始した。文化、教育、福祉、健康づくりの拠点として町役場近くに建設された複合施設。その中でも、電動移動座席を有する文化ホールは素晴らしいと思った。いろいろな事業に、成田空港からの防音工事に対しての交付金があるとのこと。そういうのがあればいいなと思った。



林 貢 議員

階上町でも計画されている複合施設の運営や意義について学習でき

謝したい。特に教育委員会で運営されている中でも、図書の管理運営に興味を持たされた。その事に関して、これからの図書館としての役割を階上町での運営に大きく参考にしていきたいと感じた。

中島 孝一 議員

千葉県一小さな町とされる神崎町だが、平成13年竣工の3700㎡鉄筋コンクリート2階建ての、文化ホールと保健福祉館の複合施設は大変立派な施設で、24年経った現在でも、綺麗に維持されている印象だった。建設費は、地方債と一般財源の約20億円と言う金額に驚かされた。ホールの402席の電動移動座席については、メンテナンス費用を検討する必要があるとのことであった。同町では、現在「発酵×オーガニック」によるまちづくりプロジェクトを進めている最中との紹介があり、個性的な町との感想を持った。

議会活動

5 月

- 1 日 町身体障害者福祉会定期総会
- 11日 はしかみ臥牛山まつり
- 14日 町農業再生協議会第1回通常総会
- 14日 郡町村議会議長会役員会
- 15日 八戸地区交通安全協会定時理事会
- 19日 国スポ実行委員会第3回総会
- 20日 町商工会通常総会
- 21日 県町村議会議長会町村議会広報研修会
- 22日 八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会定例総会
- 23日 郡町村議会議長会臨時総会
- 27日 全国町村議会議長会議長・副議長研修会
- 27日 郡町村議会議長行政懇談会
- 29日 国スポカウントダウンボード除幕式
- 29日 第2回はしかみ産業振興委員会
- 29日 第77回三戸郡総合スポーツ大会結団式

6 月

- 2 日 議会運営委員会
- 3 日 県町村議会議長会臨時総会
- 10日 第3回定例会本会議
- 10日 議員全員協議会
- 12日 第3回定例会本会議
- 12日 議会運営委員会
- 13日 第3回定例会本会議
- 13日 総務財政常任委員会
- 16日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
- 21日 町南部芸能協会定期総会
- 22日 「階上あぶらめ」お披露目式

- 23日 八戸市議会新議長へ挨拶訪問
- 23日 議会運営委員会
- 25日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会臨時会
- 30日 北奥羽開発促進協議会定例総会

7 月

- 1 日 八戸地区連合防犯協会定時総会
- 2 日 議会運営委員会
- 4 日 議会だより編集委員会
- 6 日 議員県外視察研修（いちご煮祭りin東京&第16回ふるさとのはしかみ会活動報告会）
- 7 日 議員県外視察研修（日本さかな専門学校、神奈川県水産技術センター）
- 8 日 議員県外視察研修（道の駅保田小学校、千葉県多古町役場）
- 9 日 議員県外視察研修（神崎ふれあいプラザ）
- 10日 県町村議会議長会県下町村議会議員研修会
- 14日 第78回市町村対抗青森県民スポーツ大会結団式
- 15日 議会運営委員会
- 15日 第4回臨時会
- 15日 議員全員協議会
- 15日 議会だより編集委員会
- 15日 連携中枢都市圏の形成に関する講演会
- 16日 八戸大野線整備促進連絡会要望活動
- 19日 はしかみいちご煮祭り
- 22日 夏の交通安全県民運動街頭広報活動
- 22日 議会だより編集委員会

議長交際費執行状況

支払月日	支払区分	支払内容	支払金額
5/1	祝金	町身体障害者福祉会定期総会	5,000円
5/20	祝金	町商工会通常総会	5,000円
5/27	会費	三戸郡町村議会議長行政懇談会	12,000円
6/21	祝金	町南部芸能協会定期総会	6,000円
7/1	会費	八戸地区連合防犯協会定時総会	7,000円
7/6	祝金	いちご煮祭りin東京 & 第16回ふるさとのはしかみ会活動報告会	20,000円

議会だより編集委員会

◇今月号の編集委員（3人）

・渡部 高明（議員 総務財政）
・熊谷 道雄（議員 教育民生）
・小松 雅彦（議員 産業建設）



編集後記

今回の議会だよりは、7人の一般質問、7項目の質疑あれこれとさらに県外視察研修の報告も加わり内容が豊富な18ページの編集となった。議会だよりが、これまで以上に住民と議会を結ぶ役割を果たすことを願いたい。（小松・熊谷・渡部）

議会傍聴者数 （延べ人数）

- ・第3回定例会
（令和7年6月）
6月10日（3人）
6月12日（18人）
6月13日（6人）
- ・第4回臨時会
（令和7年7月）
7月15日（2人）

議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。

発行／青森県階上町議会 〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87 年4回発行 令和7年8月8日発行
編集／議会だより編集委員会 ☎ 0178-88-2369（直通） FAX 0178-88-2117 URL <https://www.town.hashikami.lg.jp>

はしかみ議会だよりは4,400部作成し、印刷経費は43.6円/部です。